

科目名				授業の種類	授業担当者
保育内容指導法・造形表現				演習	小池 悟
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修
1年	1	30	15	後期	幼免:選択必修 保育士:選択必修
[授業の目的・ねらい]					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育者として子どもたちの造形表現活動を指導できるよう、造形表現活動の支援に必要な知識や技能の研究をする。 ・子どもの生活や遊びの中での造形表現活動を理解し、活動設定や支援方法を考え実践できるようにする。 					
[授業全体の内容と概要]					
<ul style="list-style-type: none"> ・造形表現活動を行う上で必要な表現方法やその材料・道具などに関する基本的な知識を、「ものづくりの楽しさ」を体験しながら学ぶ。 ・作品制作を通して、子どもの造形表現活動の支援に必要な様々な要素を学ぶ。 					
[受講上の注意事項]					
<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容を振り返り復習し、理解を深める。 ・日頃から子どもの造形表現活動に関心を持つよう心掛け、制作作品は必ず完成させる。 ・はさみ、のり、定規などは各自用意し授業の都度持参する。その他忘れ物をしない。 					
[使用テキスト]			[評価基準]		
<ul style="list-style-type: none"> ・「幼児造形の基礎」(萌文書林) ・その都度資料プリントを配布。 			<ul style="list-style-type: none"> ・制作した作品・課題レポートの提出70% ・授業への興味・関心・意欲30% 		
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]					
回	項目		授業内容		
1	オリエンテーション		・「保育内容としての造形表現」とは何か。授業内容について		
2	教育実習に向けて		・実習準備や教材研究の進め方について		
3	実習指導案の研究		・テーマ「キャンディボックス」 実践例から具体的な方法や課題を知り、自らの保育構想へ活用する。		
4	保育士の自己紹介 ①		・実習で使える自己紹介のための視覚教材について ～どんなものがあるのか調べる～		
5	保育士の自己紹介 ②		・「パタパタ変わり絵」の制作		
6	保育士の自己紹介 ③		・「エンドレス4面カード」の制作		
7	幼児の描画と発達段階 ①		・幼児理解 ～描画作品例の鑑賞を通して、その発達段階での特徴を理解する～		
8	幼児の描画と発達段階 ②		・幼児理解 ～解説の書き取り、作例の模写～		
9	クロッキーに挑戦 ①		・自ら描くことを楽しむ。		
10	クロッキーに挑戦 ②		・沢山描いて苦手意識をなくす。		
11	保育環境づくり ①		・折り紙装飾を体験し、保育環境への理解を深める。		
12	保育環境づくり ②		・折り紙装飾を体験し、ラミネート加工による保育環境づくりを考える。		
13	動く視覚教材 ①		・様々な保育場面での応用を想定し、「視覚教材」への理解を深める。		
14	動く視覚教材 ②		・様々な保育場面での応用を考えながら、「動く視覚教材」をつくる。		
15	学習のまとめ		・これまでの学習内容をまとめる。		
実務教員としての経歴					
実務経験と授業の関連					